

FortiGate-400A の LED 表示

LED	状態	説明
電源	グリーン	FortiGate-400A の電源がオンになっています。
	オフ	FortiGate-400A の電源がオフになっています。
1, 2, 3, 4, 5, 6	黄色	正しいケーブルが使用され、接続機器の電源がオンになっています。
	黄色点滅	トラフィック中です。
	グリーン	インタフェースが接続されています。 ・ 1, 2, 3, 4 が最高 100 Mbps で接続されています。 ・ 5 および 6 が最高 1000 Mbps で接続されています。
	オフ	接続が確立されていません。

工場出荷時設定

NAT/ ルートモード		トランスパレントモード
ポート 1 インタフェース	192.168.1.99	管理用 IP 10.10.10.1
ポート 2 インタフェース	192.168.100.99	管理者アカウント設定
ポート 4 インタフェース	10.10.10.1	ユーザ名 admin
		パスワード (なし)

FORTINET FortiGate-400A



クイックスタート ガイド

© Copyright 2004 Fortinet Incorporated. All rights reserved.

商標
本書記載の製品は、各種利権の所有する商標または登録商標です。

準拠規格
FCC Class A Part 15 CSA/CUS
2004 年 11 月 2 日

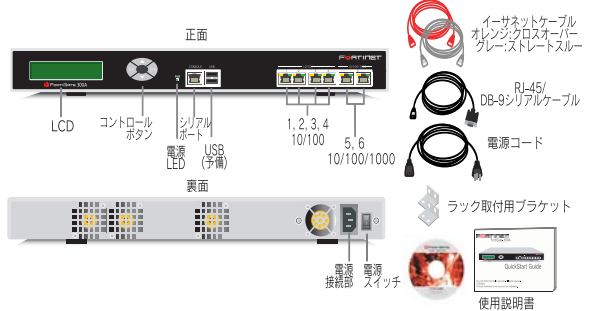
テクニカルサポートは、<http://www.fortinet.com> をご覧ください。

01-28005-0099-20041102

1 パッケージの内容を確認する

パッケージに次が揃っているかどうかを確認してください。

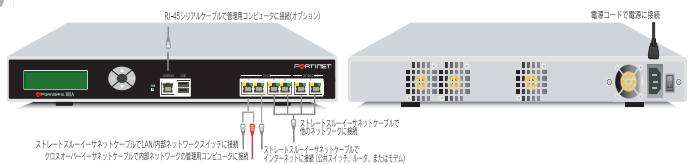
コネクタ	タイプ	スピード	プロトコル	用途
ポート 1	RJ-45	10/100Base_T	イーサネット	デフォルトで内部ネットワークに接続
ポート 2	RJ-45	10/100Base_T	イーサネット	デフォルトでインターネットに接続
ポート 3/4	RJ-45	10/100Base_T	イーサネット	他のネットワークに接続、または他の HA 用 FortiGate-400A に接続 (オプション)。CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。
ポート 5/6	RJ-45	10/100/1000 Base-T	イーサネット	他のネットワークに接続 (オプション)。
CONSOLE	RJ-45	9600 bps	RS-232 シリアル	管理用コンピュータに接続 (オプション)。コマンドラインインタフェース (CLI) へのアクセスとなります。



2 FortiGate-400A を接続する

- FortiGate-400A を安定した場所もしくは 19 インチのラックに設置します。過熱を防ぐため両側に 3.75cm のスペースを確保してください。
- 電源コードとネットワークケーブルを接続する前に、裏面の電源スイッチがオフになっていることを確認します。

FortiGate-400A を電源コンセントとネットワークに接続します。

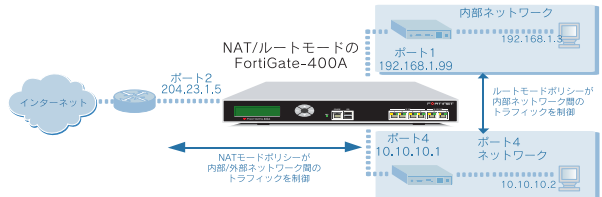


3 コンフィギュレーションプラン

FortiGate-400A のコンフィギュレーションを始める前に、既存のネットワークにどのようにインテグレーションしていくか、プランを立てる必要があります。コンフィギュレーションは NAT/ルートモード (デフォルト)、トランスパレントモードのどちらの動作モードを選択するかによって決定されます。

NAT/ ルートモード

NAT/ ルートモードでは、FortiGate-400A は接続されているネットワークから見える状態になります。インタフェースは全て異なるサブネット上になります。ポート 1 およびポート 2 に IP アドレスを設定してください。オプションとしてポート 3 から 6 までのインタフェースを設定することもできます。FortiGate-400A をプライベートネットワークと公共ネットワークの間のゲートウェイとして使用する場合は通常、NAT/ ルートモードを使用します。NAT/ ルートモードをデフォルトとするコンフィギュレーションでは、FortiGate-400A はファイアウォールとして機能し、そのポリシーが FortiGate-400A を経由するコミュニケーションを管理します。

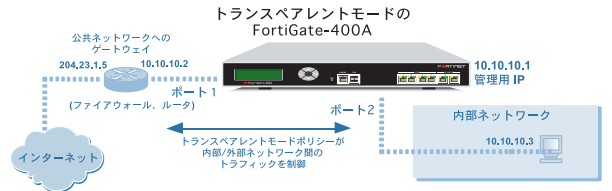


NAT/ ルートモードの場合、ファイアウォールポリシーは NAT モードもしくはルートモードで動作します。NAT モードの場合は、ネットワークアドレスを変換してから IP パケットを宛先ネットワークに送りますが、ルートモードでは変換はありません。FortiGate-400A のデフォルト NAT モードポリシーは単一で、内部ネットワーク上のユーザはインターネットのコンテンツに安全にアクセス、ダウンロードが可能です。他のポリシーを設定するまでは、これ以外のトラフィックは FortiGate-400A を経由できません。

トラフィックの管理方法、および HA、ウイルス対策、ウェブコンテンツフィルタ、スパムフィルタ、侵入防御システム (IPS)、仮想プライベート通信網 (VPN) の設定方法についての詳細は、CD-ROM に収録されている各説明書を参照してください。

トランスパレントモード

トランスパレントモードにはサブネットワークには FortiGate-400A が見えません。インタフェースはすべて同じサブネットに置かれます。また、管理用 IP アドレスを設定するだけでコンフィギュレーションを変更できます。既存のファイアウォールまたはルータの後にあるプライベートネットワーク上で FortiGate-400A を使う場合は、一般的にトランスパレントモードにします。デフォルトにトランスパレントモードを設定すると FortiGate-400A はファイアウォールとして機能し、ファイアウォールポリシーを設定するまでは、トラフィックは FortiGate-400A を経由できません。



FortiGate-400A は最高 5 つのネットワークセグメントに接続することができ、その間のトラフィックを制御します。

4 コンフィギュレーションツールの選択

FortiGate-400A の3つのコンフィギュレーションツールからどれかひとつを選びます。



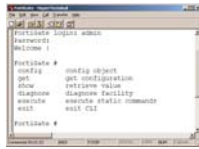
ウェブベースマネージャー/セットアップウィザード

FortiGateウェブベースマネージャーのセットアップウィザードが段階を追って初期設定を指示します。

管理者用パスワード、インタフェースアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNSサーバアドレスを設定します。オプションとして、内部サーバをNAT/ルートモードに設定するためにセットアップウィザードを使うこともできます。

必要条件

- FortiGate-400A と管理用コンピュータ間のイーサネット接続
- 管理用コンピュータ上にInternet Explorerバージョン6.0以上



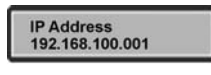
コマンドラインインタフェース (CLI)

CLIは多彩な機能を持つ管理ツールです。このインタフェースを使用して管理者用パスワード、インタフェースアドレス、デフォルトゲート

ウェイアドレス、DNSサーバアドレスを設定します。高度な設定については、CD-ROMに収録されている各説明書を参照してください。

必要条件

- FortiGate-400A と管理用コンピュータ間にシリアル接続
- 管理用コンピュータ上にターミナルエミュレーション用アプリケーション (HyperTerminal for Windows)



コントロールボタンとLCD

FortiGate-400Aの正面にあるコントロールボ

タンとLCDを使用してポート1、ポート2、ポート5インタフェースおよびデフォルトゲートウェイアドレスを設定することができます。他のインタフェースアドレスおよびDNSサーバアドレスの設定にはウェブベースマネージャーまたはCLIを使用します。

必要条件

- FortiGate-400A 本体を直接操作できること

5 設定内容の情報をまとめる

次の表を使用して FortiGate-400A の設定内容を記録します。

NAT/ ルートモード

ポート 1	IP: _____ Netmask: _____
ポート 2	IP: _____ Netmask: _____
ポート 3	IP: _____ Netmask: _____
ポート 4	IP: _____ Netmask: _____
ポート 5	IP: _____ Netmask: _____
ポート 6	IP: _____ Netmask: _____

内部インタフェースのIPアドレスおよびNetmaskが内部ネットワークにおいて有効であることを確認してください。

トランスパレントモード

管理用 IP:	IP: _____ Netmask: _____
---------	-----------------------------

管理用IPアドレスとNetmaskがFortiGate-400Aの管理に使用するネットワークに対して有効であることを確認してください。

一般設定

管理者パスワード:	
ネットワーク設定:	デフォルトゲートウェイ: _____ プライマリ DNS サーバ: _____ セカンダリ DNS サーバ: _____

FortiGateを経由してインターネットにアクセスする場合はデフォルトゲートウェイが必要です。

6 FortiGate-400A を初期設定する

- FortiGate-400Aのポート1インタフェースを管理用コンピュータのイーサネットポートに接続します。装置同士を直接接続する場合はクロスオーバーイーサネットケーブルを使用します。ハブまたはスイッチ経由で接続する場合は、ストレートスルーイーサネットケーブルを使用します。
- 管理用コンピュータがFortiGate-400Aの内部インタフェースと同じサブネットに配置されるように設定します。管理用コンピュータのIPアドレスを192.168.1.2に、Netmaskを255.255.255.0にそれぞれ変更して設定します。
- FortiGateのウェブベースマネージャーにアクセスするには、Internet Explorerを起動し、https://192.168.1.99にブラウズします。(「https://」にはSが入っていますので注意してください。)
- [名前]フィールドに「admin」と入力して、[ログイン]を選択します。

ウェブベースマネージャーとセットアップウィザード

NAT / ルートモード

FortiGate-400Aの初期設定にセットアップウィザードを使用する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、プロンプトに従ってください。

管理者パスワードの変更

- System > Admin > Administrators の順に選択します。
- 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

インタフェースの設定

- System > Network > Interface の順に選択します。
- 各インタフェースに編集アイコンを選択し、初期設定します。
- インタフェースのアドレッシングモードを設定します (詳細はオンラインヘルプを参照してください)。
 - 手動アドレッシングの場合は、インタフェースのIPアドレスとNetmaskを入力してください。
 - DHCPアドレッシングの場合は、DHCPその他必要な設定を選択してください。
 - PPPoEアドレッシングの場合は、PPPoEを選択し、ユーザ名、パスワード、その他必要な設定を入力してください。

プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレス初期設定

- System > Network > DNS の順に選択し、プライマリ/セカンダリ DNS のIPアドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの初期設定

- Router > Static の順に選択し、静的ルートの編集アイコンを選びます。
- デフォルトゲートウェイのIPアドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。



トランスパレントモード

NAT/ ルートモードからトランスパレントモードへの変更

- System > Status の順に選択し、Operation Modeの横の Change をクリックして OK をクリックします。
- 管理用コンピュータのIPアドレスを10.10.10.2に変更し、Internet Explorerを使用してhttps://10.10.10.1にブラウズします。

セットアップウィザードを使ってFortiGate-400Aを初期設定する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、プロンプトに従ってください。

管理者パスワードの変更

- System > Admin > Administrators の順に選択します。
- 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

管理用インタフェースの設定

- System > Network > Management の順に選択します。
- 管理用IPアドレスおよびNetmaskを入力します。
- 必要場合は管理者アクセスオプションを選び、OK をクリックします。

プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレス設定

- System > Network > DNS の順に選択し、上記に従って登録したプライマリ/セカンダリ DNS のIPアドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの設定

- System > Network > Management の順に選択します。
- デフォルトゲートウェイのIPアドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。

注意: ポート1インタフェースのIPアドレス (NAT/ルートモードの場合) または管理用IPアドレス (トランスパレントモードの場合) を変更する場合は、このアドレスを使用してウェブベースマネージャーとセットアップウィザードに再接続する必要があります。また管理用コンピュータのIPアドレスを変更して新IPアドレスと同じサブネット上に来るようにはしてはならない場合もあります。

コマンドラインインタフェースを使用する

1. シリアルケーブルを使用して FortiGate Console ポートを管理用コンピュータのシリアルポートに接続します。
2. 管理用コンピュータ上でターミナル エミュレーションプログラム (HyperTerminal) を起動し、次のように設定します。ボーレート (bps) : 9600、データビット : 8、パリティ : なし、ストップビット : 1、フロー制御 : なし
3. Login: のプロンプトが表示されたら、admin と入力し、Enter を 2 回押します (パスワード不要)

NAT/ ルートモード

1. FortiGate-400A ポート 1 インタフェースを設定します。

```
config system interface
edit port1
set mode static
set ip <intf_ip> <netmask_ip>
end
```
2. 同様に、ポート 2 インタフェースなど各インタフェースを設定します。

```
config system interface
edit port2
...
```
3. プライマリ / セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

```
config system dns
set primary <dns-server_ip>
set secondary <dns-server_ip>
end
```
4. デフォルトゲートウェイを設定します。

```
config router static
edit 1
set gateway <gateway_ip>
end
```

トランスペアレントモード

1. NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードに変更します。

```
config system global
set opmode transparent
end
```
2. しばらく待ち、プロンプトが表示された時点で再度ログインします。
3. 管理用 IP アドレスを設定します。

```
config system manageip
set ip <mng_ip> <netmask>
end
```

DNS サーバ IP アドレスを設定します。

```
config system dns
set primary <dns-server_ip>
set secondary <dns-server_ip>
end
```
4. デフォルトルートを設定します。

```
config router static
edit 1
set gateway <gateway_ip>
end
```

FortiGate-400A の再設定

ネットワーク設定の変更を誤り、FortiGate-400A に接続できない場合は、再起動して接続するか、いったん工場出荷時設定に戻してから設定し直してください。

- 再起動するには、**System > Maintenance > ShutDown** の順に選び、Reboot を選択します。 CLI: execute reboot
- リセットするには、**System > Maintenance > Shutdown** の順に選び、Reset to factory default (工場出荷時設定に戻る) を選択します。 CLI: execute factoryreset

7 コンフィギュレーションの完了

これで基本設定は完了。ネットワークはインターネット経由の脅威から保護されます。設定のオプションについての詳細は、オンラインヘルプもしくは CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。

テクニカルサポート

Fortinet テクニカルサポートウェブサイト : <http://support.fortinet.com>

Fortinet 電子メールサポート :

amer_support@fortinet.com	米国、カナダ、メキシコ、中南米のお客様
apac_support@fortinet.com	日本、韓国、中国、香港、シンガポール、マレーシアその他アジア各国およびオーストラリアのお客様
eu_support@fortinet.com	イギリス、スカンジナビアおよび欧州各国、アフリカ、中東のお客様